



循環式手洗いユニット

オアシス
Oasys



取扱説明書

MYZ O-20 Plus (CY-03)



ご使用前に、必ず本取扱説明書をお読みになり、内容を理解した上で、ご使用ください。

Y'sG ワイズグローバルビジョン株式会社

シリアルナンバー（本体識別番号）



・シリアルナンバー（本体識別番号）、購入年月日は、お問い合わせや部品を注文する際に必要となりますので、本書に記入しておくことを推奨します。

※万一の盗難や紛失に備え、本紙以外にも情報を記録されることを推奨します。

ワイズグローバルビジョン株式会社

NO. CY03--0001

シリアルナンバー

シリアルナンバー（本体識別番号）

購入年月日

年	月	日
---	---	---

お客様ご相談窓口のご案内

・お買い上げいただきました商品についてのお問い合わせ・ご相談は、下記の「カスタマーサクセス部」にお問い合わせください。

ワイズグローバルビジョン株式会社

カスタマーサクセス部

〒904-2311 沖縄県うるま市勝連南風原5192-47(30号棟)

☎ フリーダイヤル 0120-968-803

受付時間 月～金曜日（祝日、弊社所定の休日等を除く）9:00～12:00, 13:00～18:00

ワイズグローバルビジョン株式会社の循環式手洗いユニットをご購入いただき、誠にありがとうございます。

循環式手洗いユニットは、水道が引けない場所や排水が出せない場所でご活用いただける装置です。

100Vの電力で、いつでも、どこでも場所を選ばずに手洗いが可能で、使った水を濾過して再利用するシステムですので、給排水の手間も激減します。

また、水道敷設工事や原状復帰の手間やコストを気にする必要が無い、簡単な設置が可能です。

是非、労働環境の改善にお役立てください。



⚠️安全にご使用いただくためのお願い

本書には、製品の安全性に関する情報と正しい取扱い方法、簡単な点検・調整について記載しております。必ず本書記載の内容を、よくご理解・ご確認の上、正しくご使用ください。

また、本書では、正しい取扱いおよび点検・調整に関する必要な情報を、下記のシンボルマークにて表示しています。これらのマークとともに記載された説明には、特にご注意ください。よろしくお願いいたします。

⚠️ 警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合

⚠️ 注意

取扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害が想定される場合

要点

正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

目次

- シリアルナンバー（本体識別番号）
- 製品概要と安全にご使用いただくためのお願い
- 目次

各部名称&付属品 P.1

諸注意と設置場所
(原水についての注意事項、浄水についての注意事項) P.3

装置の組み立て P.4

給水 P.6

電源の入れ方 P.7

各種表示灯説明 P.10

ROモジュールの交換、UV殺菌装置の交換 P.11

動作チェック P.12

手洗い方法 P.13

消耗品交換 P.14

排水 P.16

休み明け対応作業 P.18

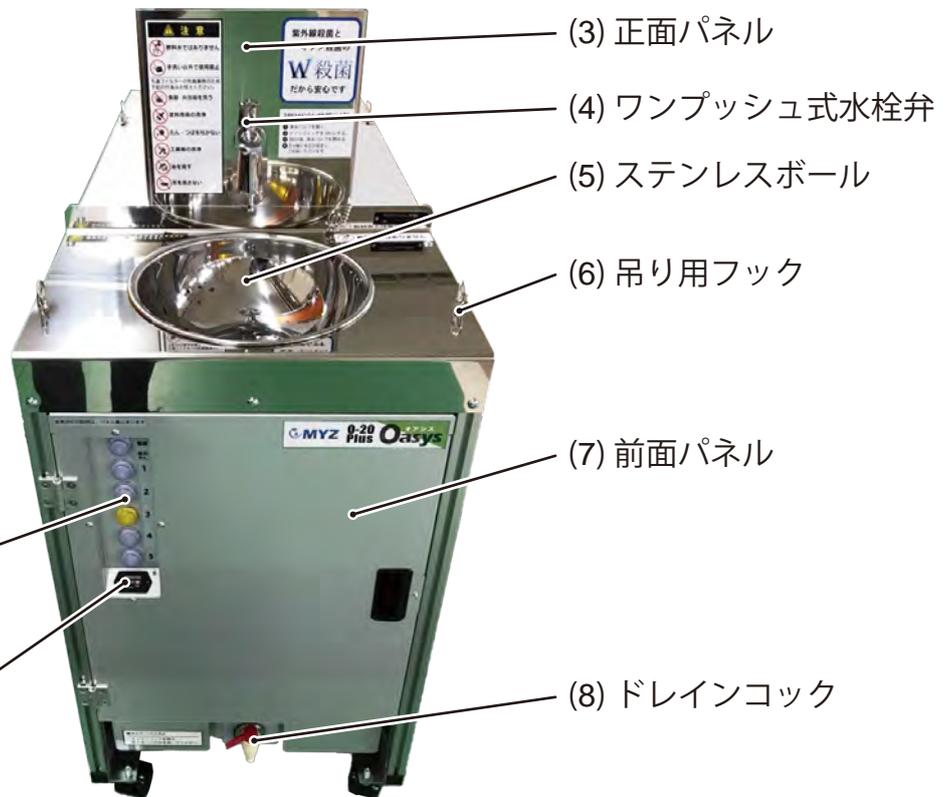
FAQ(よくあるご質問) P.19

仕様諸元 P.20

- メンテナンス実施日記録表

各部名称 & 付属品

● 正面 (閉扉時)



- (1) 各種表示灯
※各表示灯の説明は、
P.19 をご確認ください。
- (2) アワーメーター

(開扉時)



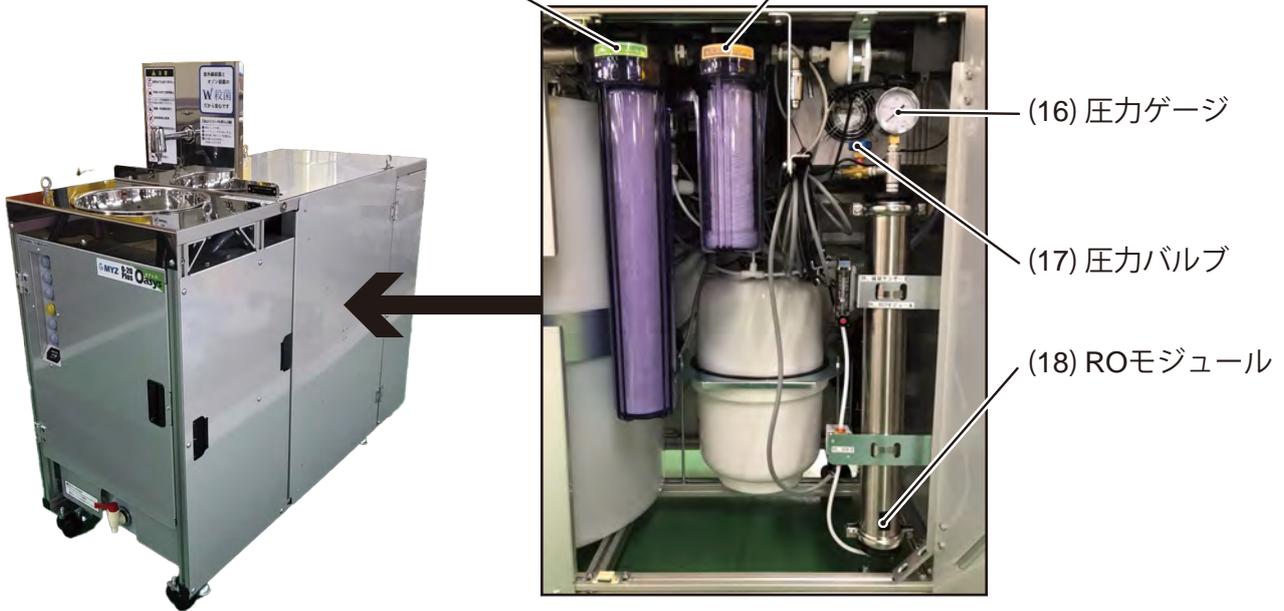
● 向かって右側面

(14) 20インチ0.5 μ セディメントフィルター

一週間に一回交換

(15) プレカーボンフィルター

一週間に一回交換



● 向かって左側面

(20) メインスイッチ

(19) 排水モードスイッチ



(21) 交換用消耗品類

(22) 備え付けホース

(23) ブレーカー(主電源)
(電源ボックス)

(24) アク्यूムレータータンク

月に一回の水換え

(25) 10インチ0.5 μ セディメント
フィルター

一週間に一回交換



諸注意と設置場所

警告

- ・感電の恐れがある為、濡れた手で製品を操作しないでください。
- ・感電や怪我の恐れがある為、運転中は点検整備を行わないでください。
- ・感電や怪我の恐れがある為、改造したり、部品を取り外したまま使用しないでください。
- ・製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に貸してください。
- ・製品は、平坦な場所で使用し、傾斜がある場所でのご使用はお控えください。

- ・運転中は、製品を移動させないでください。
- ・製品の内部に、棒や針金を入れないでください。
- ・製品の周囲や下部に、危険物や可燃物を置かないでください。
- ・製品を運搬する際には、倒れないようにしっかりと固定してください。
- ・毎回使用前の始業点検や定期点検は必ず実施してください。
- ・使用中、音、臭気、振動などの異常を感じたら、直ちに装置を停止させ、販売店もしくはサービス店の点検を受けてください。



注意

※下記状況でのご使用の際は、以下の点に注意をしてください。

- ・強風、豪雨での屋外使用時
→電気ボックス内に水やほこりが侵入しないようカバー等を併用ください。
- ・凍結の恐れのある場所での使用時
→使用毎に水抜きを行い、装置内部での凍結を防いでご使用ください。

原水についての注意事項

※原水は真水をご使用いただき、定期的な入れ替えをお願い致します。



取扱注意

コンクリートはつり水や科学薬品を**絶対**に原水として使用しないでください。

※上記ステッカーは製品にも貼付されています。ラベル等を汚したり、剥がしたりしないでください。

浄水についての注意事項



飲料水ではありません

※左記ステッカーは、製品にも貼付されています。ラベル等を汚したり、剥がしたりしないでください。

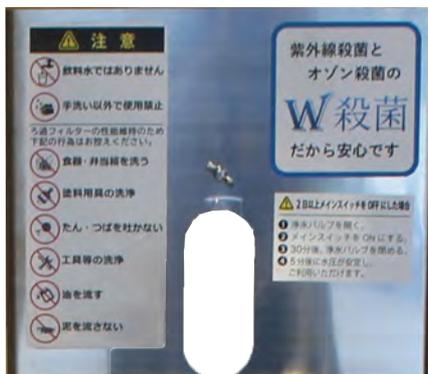
※本製品の浄水は、**"手洗い水"**としてご使用ください。

装置の組み立て

製品開梱時は、下記4個のパーツに分かれて到着いたします。



本体



正面パネル



ゴム栓

ワンプッシュ水栓

● 水平を調整する。

本体の設置場所を決め、アジャスターにて高さを調整する。

警告



※必ず水平な状態に本機を安定させてください。



● ワンプッシュ水栓を取り付ける。

六角レンチ/アレンキー(5号)を使用し、右写真・赤枠で囲まれた二か所のネジを軽く締める。(仮締め)



● 正面パネルを取り付ける。

正面パネルの穴からプッシュ水栓を潜らせてください。

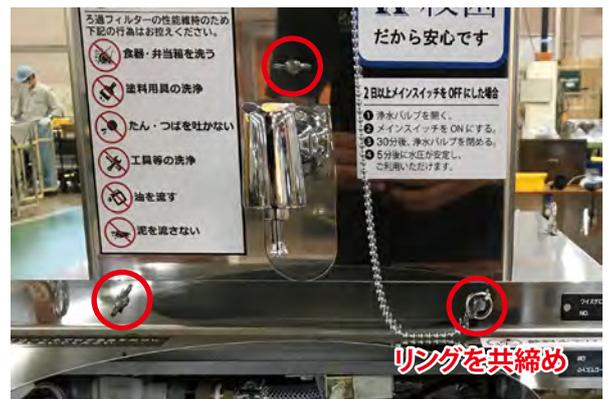


六角レンチ/アレンキー(5号)を使用し、右写真・赤枠二か所のネジを強く締める。(本締め)



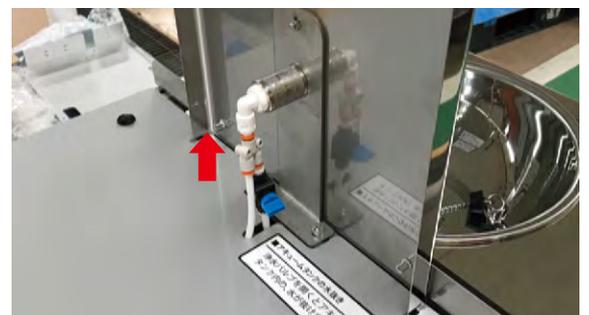
● 正面パネル表面3箇所をネジ留め。

蝶ネジM5を手で三か所、締めてください。そのうち一か所(右下)には、ゴム栓のリングを共締めしてください。



● 浄水ホースを接続する。

ワンプッシュ水栓の裏の差込み口に、浄水ホースを挿し込んでください。



「装置の組み立て」は以上です。

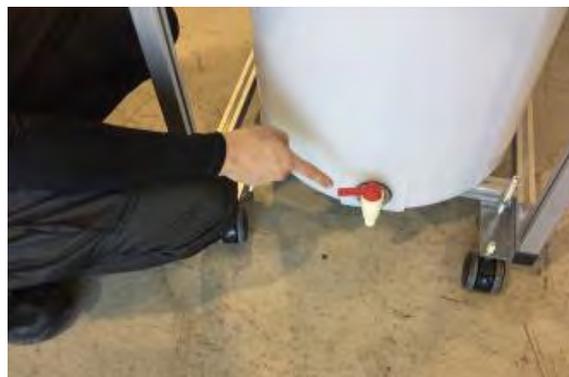
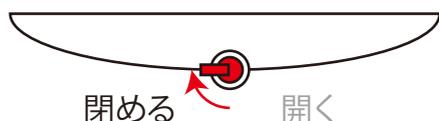
給水

警告

製品を安全にお使いいただくために、最低月に一度の原水交換をお願いいたします。

● ドレインコックの閉栓を確認

・栓の方向が向かって左側であれば、閉栓です。



● 原水キープラインに従って水を注入

- ・受水タンクのシール(原水キープライン)は、適切な水の量を示しております。
- ・受水タンクに注入された水は、浄水後、アキュームレータータンクにも貯水されます。
- ・装置全体として約80ℓの水を使用します。



原水キープラインシール

原水を矢印の範囲内に保ってください

「給水」は以上です。

電源の入れ方

● 電源ケーブルを挿し込む

100Vのコンセントにしっかりと挿さっていることを確認してください。

⚠ 警告

可能な限りアースを使用してください。

※アース付きのコンセントの場合は、プラグのアース極を立てて、しっかりと挿し込んでください。

※アース付きのコンセントでは無い場合、プラグのアース極を倒し、プラグのアースクリップをアース端子と接続してから、プラグをコンセントにしっかりと挿し込んでください。



● トップカバーの取り外し

カバーは安全のため、右写真赤丸で囲んだ四か所をカバークリップで固定しています。



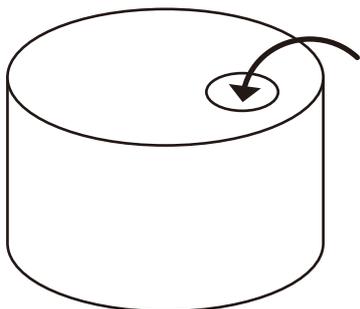
マイナスドライバーなどを、カバークリップの間に差込み、上に持ち上げてカバークリップをすべて取り外してください。

カバークリップは小さく、失くしやすいのでご注意ください。



● 浄水バルブの接続確認

浄水バルブのチューブが受水タンクに入っているかを確認する



● ブレーカーをONにする。

右写真・赤枠の留め金を外して、電源ボックスを開けてください。



電源ボックス内のブレーカーをON(上側)後、金具を留めて電源ボックスのカバーを閉じる。



右写真・赤枠の留め金をしっかりと閉じてください。



● トップカバーの取り付け

先ほど取り外したカバーを取り付け、安全のため、右写真赤丸で囲んだ四か所をカバークリップで固定してください。

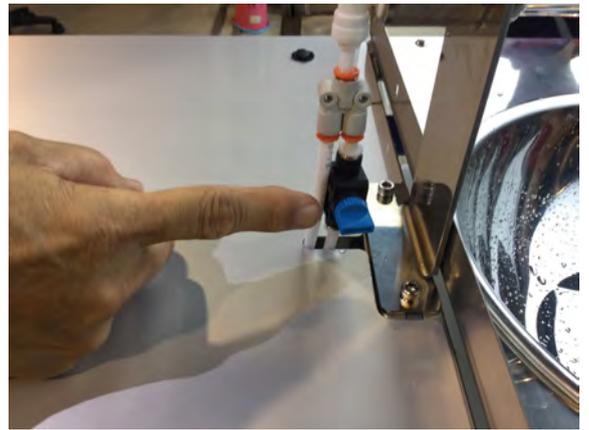
警告

主電源ON後のトップカバーの付け忘れは、感電などに繋がる恐れがございます。



● 浄水バルブが閉じていることを確認

正面パネルの裏、浄水バルブが閉じていることを確認してください。



● 電源スイッチをオンにする。

受水タンクからアキュームレータータンクへの浄水が開始されます。アキュームレータータンクは約20分で満杯になりますが、機械は電源スイッチON後、約5分後から使用することが可能です。



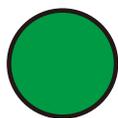
⚠ 警告

水の入れ替え後、最初の稼働時に、圧力ゲージの針が揺れ、安定しないことがあります。その場合、セディメントフィルター0.5 μ 内やホース内にエア（空気）が混入している可能性があります。その際には、P.10「動作チェック」をご確認の上、圧力ゲージの調整を行ってください。

各種表示灯説明

本製品は、正常な稼働を保つために、主要な個所をセンシングし、前面の各種表示灯にて、フィルター交換時期や異常等のお知らせします。表示灯点灯時は、下記案内に従って、ご対応ください。

※赤、アンバー、黄色の表示灯については、該当箇所の処理後メインスイッチを OFF、再度 ON にしてリセットします。



点灯：電源ランプ

ブレーカーを入れると点灯。
電気が本体に正しく入力されています。



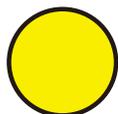
1, 点灯：浄水セディメントフィルター 下記の交換

⑥セディメントフィルター 10 inch 0.5 μ
※フィルターの交換手順は P11 参照
※4 番赤色同時点灯：UV 殺菌装置 1(浄水部)の交換



2, 点灯：循環セディメントフィルター 下記の交換

④セディメントフィルター 20 inch 0.5 μ
⑤プレカーボンフィルター 10 inch
※フィルターの交換手順は P11 参照
※4 番赤色同時点灯：UV 殺菌装置 2(循環部)の交換

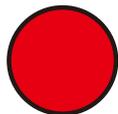


3, 点灯：浄水量低下

⑦ダイヤフラムポンプの性能確認
1, 圧力ゲージを確認、0.6 ~ 0.8MPa の範囲内か確認
2, 圧力が適切でない場合、圧力調整バルブで範囲内に調整
3, 圧力が上がらない場合、⑦ダイヤフラムポンプの交換
4, 圧力が範囲内に調整可能、⑧の交換
⑧RO モジュールの交換方法は、次ページ参照

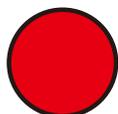
点滅：水栓弁周りの水漏れ発生

1, ワンプッシュ水栓から水が出続ける
2, 上記以外からの水漏れ
メインスイッチを OFF にし、問い合わせ窓口へご連絡下さい。



4, 点灯：UV 殺菌装置の交換

①のランプと同時点灯時：UV 殺菌装置 1(浄水部)の交換
②のランプと同時点灯時：UV 殺菌装置 2(循環部)の交換
交換方法は、次ページ参照

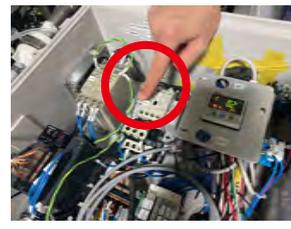


5, 水中ポンプ異常

まずは弊社までお問い合わせください。フリーダイヤル：0120-968-803

水中ポンプのトラブル解決後、ランプを消灯するには一旦製品の全電源を OFF にし、トップカバーを開け、制御ボックス内の青いスイッチ (MC1) を押したあと、製品の電源を ON にしてください。

- ・トップカバーは右写真赤枠四か所のカバークリップにマイナスドライバーなどを差し込み、上に持ち上げて取り外すと、取り外すことが可能です。
- ・電源の入れ方は、P7 参照



アワーメーター 各種表示灯



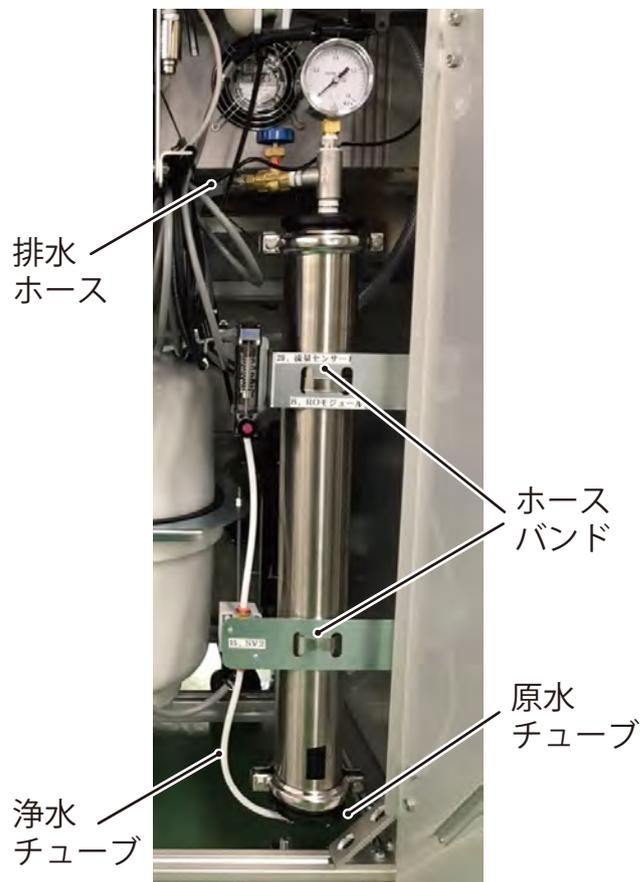
アワーメーター：

浄水(ダイヤフラムポンプ稼働)の積算時間表示

●ROモジュールの交換

- 1, 排水側ホースのホースバンドを緩め、ホースを抜きます。
- 2, 浄水チューブが差し込んであるワンタッチコネクターの根本を抑えながらチューブを抜きます。
- 3, 原水チューブもワンタッチコネクターから抜き取ります。
- 4, 本体を取り付けてあるホースバンドを緩め、モジュール本体を取り外します。

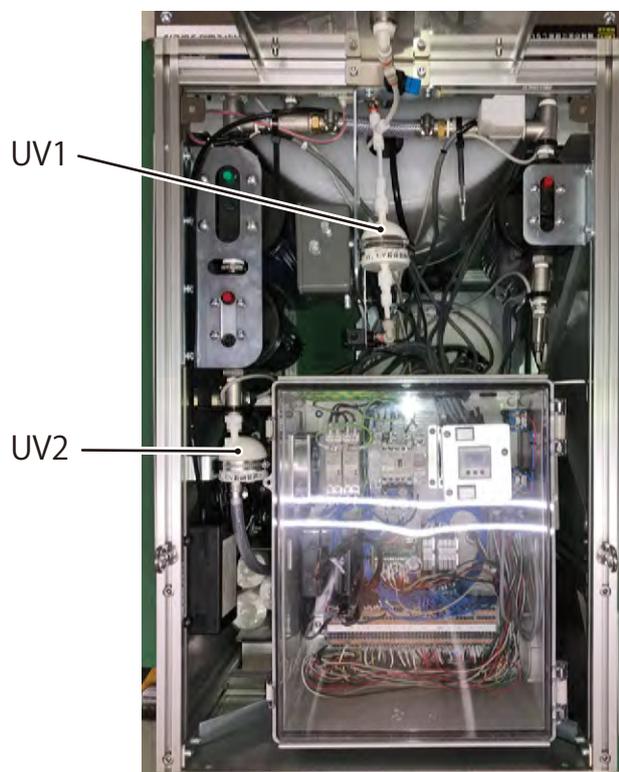
※取付は逆の順となります。



●UV殺菌装置の交換

- 1, コネクターを取り外す。
- 2, UV殺菌装置本体のホースバンドを緩める。
- 3, ワンタッチコネクターとホースからUV殺菌装置本体を取り外す。

※取付は逆の順となります。



製品上部(トップカバーを取り外し後)

※トップカバーの取り外し方は、前ページ参照

動作チェック（定期的にご確認ください）

警告

製品を安全にお使いいただくために毎日一度の定期チェックを実施してください。

● 圧力ゲージのチェックと調整（使用時の正常値：0.6～0.8Mpa）

注意

水の入れ替え後、最初の稼働時等には、圧力ゲージの針が揺れて安定しない場合がございます。その場合、セディメントフィルター0.5 μ 内やホース内にエア（空気）が混入している可能性がございます。その場合は、本項目に記載のチェックと調整を行ってください。

- ① 圧力調整バルブ(青色)のツマミを左に回し、エア（空気）が抜けるまで数秒待つ。
- ② エア（空気）が抜けたら右に回し、圧力ゲージの針を0.6～0.8Mpaの範囲に調整する。
※0.8Mpa以上になると、ポンプが自動停止する可能性があります。



圧力調整バルブ

圧力ゲージ
(出荷時設定 0.6Mpa)

● 原水量のチェック

受水タンクのシール(原水キープライン)は、適切な水の量を示しております。受水タンクの水量がキープラインシールの示す範囲内に満たない場合は、P.6「給水」をご確認の上、給水してください。



原水キープラインシール

原水を矢印の範囲内に保ってください

● フィルターの状態チェック

フィルターの交換頻度は、使用状況及び原水の状態により異なる場合がございますが、通常は一週間に一回交換をしてください。

交換方法につきましては、P.12「消耗品交換」をご確認ください。



新品

1～2週間

1か月

手洗い方法

- 通常使用時は、
ワンプッシュ水栓弁を
押し込むだけで手洗い可能

一回の押し込みで約2秒間、50CCの水が出ます。



⚠ 警告

製品を安全にお使いいただくために、
最低月一回の原水交換をお願いいたします。

消耗品交換

● メンテナンスパック

循環式手洗いユニットを最適な状態に保つためにご提供する「メンテナンスパック」は、一か月分・6種類の消耗品を一つにまとめたセットです。

製品の工場出荷時には、向かって左側面奥のスペースに、一か月分の消耗品を収納しております。
(P2「向かって左側」参照)

製品と消耗品を常時一緒に移動出来ますので、是非、このペースをご活用ください。



⚠ 注意

各消耗品交換の交換は、装置の運転を停止してから実施してください。

セット内容

		個数	交換頻度
バックフィルターユニット	オイル吸着シート	2	二週間に一回
	カーボンパック	2	二週間に一回
	バックフィルター-5 μ	2	二週間に一回
10インチ0.5 μ セディメントフィルター		4	一週間に一回
20インチ0.5 μ セディメントフィルター		4	一週間に一回
プレカーボンフィルター		4	一週間に一回

二週間に一回交換



オイル吸着シート



カーボンパック



バックフィルター-5 μ

バックフィルターユニット

一週間に一回交換



プレカーボンフィルター



10インチ0.5 μ
セディメントフィルター



20インチ0.5 μ
セディメントフィルター

● 10インチ0.5 μ セディメントフィルター、 20インチ0.5 μ セディメントフィルター、 プレカーボンフィルターの交換

一週間に一回交換

各フィルター上部にフィルターの種類がシールで貼り付けられていますので、同じ種類のフィルターと交換を行ってください。

※取り外しには付属品のセディメントレンチを使用してください。



フィルター状態の確認につきましては、P.12「動作チェック」をご確認ください。

● バックフィルターユニットの交換

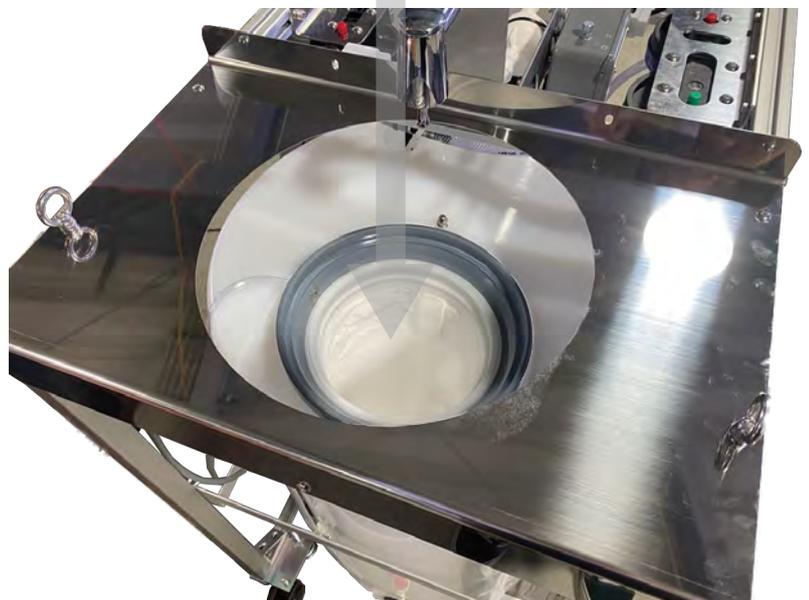
二週間に一回交換

オイル吸着シート
をガイドの中に入れる。
(三つ折りにして、
ガイドの中に横向けに
入れてください。)

既に取りけられている
バックフィルターユニットを取り外し、
中からガイドを取り出します。
各フィルターを新品に取り換え、
左図の順番で重ねて、再度、取り付けてください。



ガイド
※製品備え付けの物を
使い回し



バックカーボン
は、ガイドの底

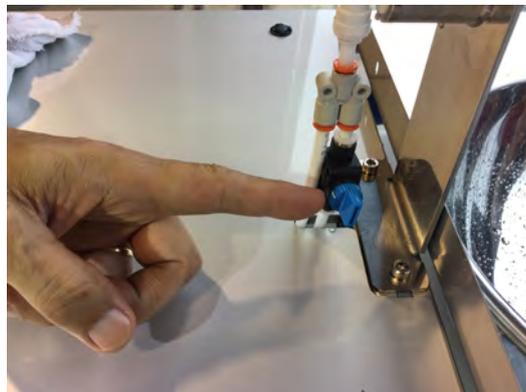
バックフィルター

排水

警告

水質の安全性のため、月に一度の水交換(排水と給水)をお願いいたします。
・給水については「P.6」をご確認ください。

- 正面パネル裏の“浄水バルブ”を開く。(上向き)。



- 向かって左側面・真ん中のカバーを開け、ブレーカー(主電源)/電源ボックス横のアク्यूムレータータンクの水バルブを開く(上向き)。

※アク्यूムレータータンク内の水が抜けるのを待つ。

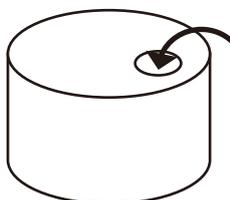


- アク्यूムレータータンクのすぐ上のホースジョイントを外、備え付けホースに繋ぐ。

※出荷時、備え付けホースは、向かって左側面奥のスペースに収納されております。



- 備え付けホースを受水タンクに入れる。



- **メインスイッチがOFFになっていることを確認後、排水スイッチをONにする。**



- **メインスイッチをONにする。**

- **3秒後に排水開始。**

- **2分後に自動で停止。**

- **排水スイッチをOFFにする。**



- **メインスイッチをOFFにする。**



「排水」は以上です。

休み明け対応作業

警告

循環式手洗いユニットは、電源ONの間、定期的に水の浄水を行っておりますが、**電源をOFFにした状態が数日続いた場合、浄水・殺菌が十分に出来ていない場合がございます。**
二日以上、電源OFFの状態が続いた場合は、必ず本項目に記載の手順で製品内の浄水・殺菌を行ってください。

● アキュームレータータンクの水を抜く

①浄水バルブを開く。(上向き)

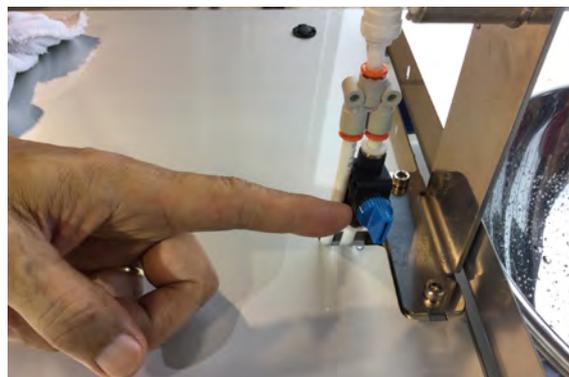
開く



閉じる

②約5分間待機する。

(アキュームレータータンク内の水が抜けるのを待つ)



● フィルターとUV殺菌装置で装置内の水を綺麗にする。

①メインスイッチをON(右向き)

②約30分待機し、約30分間循環させる。



● 浄水をアキュームレータータンクに溜める。

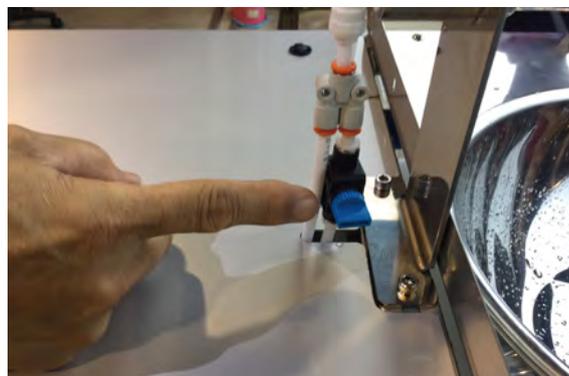
①浄水バルブを閉め(横向き)、**約5分間待機する。**
(アキュームレータータンクに水が溜まり始めます)

開く



閉じる

②使用可能になります。



「休み明け対応作業」は以上です。

FAQ (よくある質問)

質 問	回 答
石鹼を使用することはできますか。	問題なくご使用いただけます。
循環式手洗いユニットで流すことができないものはありますか。	手を洗うことを前提とした製品の為、工具の洗浄やお弁当の食べ残しなど詰まりの原因となる固形物を意図的に流されることはお控えください。 また、ペンキ汚れがついている刷毛や工具の部類の洗浄につきましても、比較的大きな異物を配管・タンク内に侵入させつまりの原因となります為、お控えいただきたくお願い致します。
浄水タンクの水がなくなることはあるのでしょうか。	浄水タンクの水量を検知し、原水タンクの水をろ過する機構を採用しております為、基本的には浄水タンクの水が枯渇することはありません。
使用期間中、水の補給は必要となりますか。	大気蒸発分や人手への付着分は原水自然減の原因となります。500mlボトル等で1日おき等こまめに補給を頂く事を推奨いたします。

仕様諸元

概略寸法	W(幅)550 × D(奥行)1,200 × H(高さ)1,260 mm
乾燥重量	約90kg
使用電圧	単相100V
使用電力	最大 600W 通常運転時 300W
基準造水量	40 ℓ ~60 ℓ /h前後 (0.7 ℓ ~1 ℓ /m前後)
浄水TDS	1~50 ppm ※水道法が定める水質基準項目(51項目)をクリア

 **ワイズグローバルビジョン株式会社**

お問合せ先フローダイヤル

 **0120-968-803**

〒904-2311 沖縄県うるま市勝連南風原5192-47

TEL : 098-923-1432

FAX : 098-923-1872

ホームページ : <https://ysgv.jp/>



2109-01